

目黒中央中学校の教育課程の変遷

		統合前(平成17年度)	統合後(目黒中央中学校)	新校舎(平成20年度)
教育目標	二中	人間尊重の精神をふまえ、心身ともに健康で、国際社会において信頼と尊敬の得られる、人間性豊かな生徒の育成を目指して、次のことを基調として教育を推進する。 心身を健康快活にし、礼儀を正しくすること 勤労と責任を重んじ、自治の良習を養うこと 真理と正義を愛し、個性豊かに学ぶこと	旧校舎(平成18年度) 国際社会が進展する21世紀の担い手として、たくましく生きる力を培い、互いのよさを尊重し合い、進んで社会に貢献できる人間の育成を図ることをねらいとして、次の教育目標を掲げる。 「自立と共生」	新校舎(平成20年度) 国際社会が進展する21世紀の担い手として、たくましく生きる力を培い、互いのよさを尊重し合い、進んで社会に貢献できる人間の育成を図ることをねらいとして、次の教育目標を掲げる。 「自立と共生」
	五中	「生き方を考え、よりよく着実に実践する生徒」の育成を目指し、考える力、感謝の心、勤労と責任感焦点を当て、生徒一人ひとりが自分のよさに目を向け、表現する力を身につけられるように図る。そのため、師弟同行による明るく、創造性に満ちた、規則正しい学校生活を基盤として、 高い志を立て、意欲を持って学習する態度を育てる。 自分も人も大切にす、豊かで誠実な心を育てる。 心とからだを鍛え、責任をもって実践する力を育てる。		
	六中	生徒の調和ある人格の完成を目指し、その達成に向けて、教師と生徒がともに歩んでいく意味を込めて次の目標を設定する。 人間性豊かな生徒の育成を目指し、求めて学び共に行う 学ぶ 鍛える 考える		
教育目標を達成するための基本方針	二中	ア 教育活動全体を通して人権尊重の精神のもとに、思いやりの心を基盤に、人間として互いに尊重し合う学校づくりに努める。 イ 健康・安全で活力ある生活を営む教育環境の整備に努める。 ウ 生き方を考える能力を育む指導を重視し、心身を鍛え、主体的に活動する、心豊かに思いやりのある、健康な生徒の育成を図る。 エ 小規模校の特徴を生かし、一人一人の個性を生かす教育を推進し、指導形態指導方法及び評価の工夫改善を図り、基礎・基本の確実な定着をめざす。 オ 総合的な学習の時間では、体験的な学習活動を通して、豊かな人間性をはぐむために、多様な活動の機会や場の充実を図るとともに、自らの生き方を考える生徒の育成に努める。 カ 生徒と教師及び生徒相互の望ましい人間関係を確立し、不登校やいじめ問題に関する相談、進路に関する相談等、教育相談の充実を図り、生徒理解を深める。 キ 人権尊重を基盤とした国際理解教育を推進する。 ク 共に学ぶ姿勢のもとに、学校・家庭・地域社会の相互の連携を強化し開かれた学校をつくる。さらに、信頼と協力の人間関係のもとに、生涯学習の基礎を培う教育活動を充実し、特色ある学校づくりを目指す。 ケ 二学期制を実施し、ゆとりの中で、きめ細かな教育活動を展開し、生徒一人一人に成就感を与える。	ア 確かな学力の向上と定着を目指した教育を推進する。 ・ 個に応じた指導の充実を図り、基礎・基本を徹底する。 ・ 指導法を工夫し、分かる授業を展開し、生徒自らの学ぶ力を高める。 ・ 英語教育・情報教育等の充実により、コミュニケーション能力の向上を図る。 イ 社会性と国際性の育成を目指した教育を推進する。 ・ 特別活動の充実を図り、生徒の自律意識を高め、生徒相互の人間関係を深める。 ・ 体験的活動を重視し、生き方教育としての進路指導の充実を図る。 ・ 国際理解教育の充実を図る。 ・ 環境教育及び環境学習活動の充実を図る。 ・ 特別支援教育体制の整備及び特別支援教育の充実を図る。 ウ 心と体の健康教育を推進する。 ・ 望ましい基本的生活習慣の確立、着実にやり抜く強い意思の育成、規範意識の向上など、心の教育の充実を図る。 ・ 芸術文化活動及びスポーツ活動を奨励し、生活を楽しむ感性、豊かな情操の涵養を図る。 ・ 教育相談機能の充実を図り、生徒一人ひとりの課題解決をきめ細かに支援する。 エ 開かれた学校を推進する。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。	ア 確かな学力の向上と定着を目指した教育を推進する。 ・ 個に応じた指導の充実を図り、基礎・基本を徹底する。 ・ 指導方法を工夫し、分かる授業を展開し、生徒自らの学ぶ力を高める。 ・ 区学力調査及び授業評価を活用し、生徒の実態を踏まえた授業改善に取り組む。 ・ 英語教育・情報教育等の充実により、コミュニケーション能力の向上を図る。 ・ 平成20・21年度教育開発指定校として、「新たな学習形態の確立」を研究主題に研究に取り組む。 イ 社会性と国際性の育成を目指した教育を推進する。 ・ 特別活動の充実を図り、生徒の自律意識を高め、生徒相互の人間関係を深める。 ・ 体験的活動を重視し、生き方教育としての進路指導の充実を図る。 ・ 人権教育・国際理解教育の充実を図る。 ・ 環境社会貢献活動(学校版ISO活動)を推進し、環境学習活動の充実を図る。 ・ しいの木学級を中心とする特別支援教育体制の整備及び特別支援教育の充実を図る。 ウ 心と体の健康教育を推進する。 ・ 望ましい基本的生活習慣の確立、着実にやり抜く強い意思の育成、規範意識の向上など、心の教育の充実を図る。 ・ 芸術文化活動及びスポーツ活動を奨励し、生活を楽しむ感性、豊かな情操の涵養を図る。 ・ 教育相談機能の充実を図り、生徒一人ひとりの課題解決をきめ細かに支援する。 エ 開かれた学校を推進する。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。 ・ 地域教育懇談会などにおいて、地域・保護者と積極的に連携し、地域に根ざした教育活動の展開を図る。 ・ 小学校との連携を推進する。
	五中	ア 日本人としての自覚を高めつつ国際社会で信頼と尊敬を得られる豊かな心、人間性の育成に努める。 イ 自主的・主体的活動を通して、個性の伸張を図り、自ら学ぶとする意欲と関心を高め、社会の変化に対応でき、生涯を通じて逞しく生きる力の育成に努める。 ウ 師弟同行により、学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、日常生活の基本的生活習慣と基礎的な学習の充実を図る。 エ 生徒・保護者・教師の心の交流を深め、全ての教育活動を通して、社会規範を守る態度を育成し、道徳実践力を高める指導の徹底を図る。 オ 全ての教育活動を通して、自他の生命を尊重するとともに、調和の取れた心身の発達や健康の保持増進を図る。 カ 生徒が発達段階に応じて、自己理解を深め、自ら適した進路の選択ができるよう計画的な進路指導の充実を目指す。 キ 選択教科は、課題学習や発展的な学習など多様な学習活動を展開する。 ク 少人数学習指導や学習指導員の効率よい活用を図り、多様な学習の機会や場を提供し、生徒の資質・能力を育成することにより、個性を生かす教育の充実を図る。 ケ 二学期制の検証を基に、より一層充実した教育活動が展開できるよう教育課程を編成する。 コ 今年度は更に、教育活動の一層の充実を目指す。また、地域・家庭・学校が三位一体となって閉校に向けて有終の美を飾るよう協調を図っていく。	ウ 心と体の健康教育を推進する。 ・ 望ましい基本的生活習慣の確立、着実にやり抜く強い意思の育成、規範意識の向上など、心の教育の充実を図る。 ・ 芸術文化活動及びスポーツ活動を奨励し、生活を楽しむ感性、豊かな情操の涵養を図る。 ・ 教育相談機能の充実を図り、生徒一人一人の課題解決をきめ細かに支援する。 エ 開かれた学校を推進する。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。 ・ 地域・保護者と積極的に連携し、地域に根ざした教育活動の展開を図る。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。	ウ 心と体の健康教育を推進する。 ・ 望ましい基本的生活習慣の確立、着実にやり抜く強い意思の育成、規範意識の向上など、心の教育の充実を図る。 ・ 芸術文化活動及びスポーツ活動を奨励し、生活を楽しむ感性、豊かな情操の涵養を図る。 ・ 教育相談機能の充実を図り、生徒一人ひとりの課題解決をきめ細かに支援する。 エ 開かれた学校を推進する。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。 ・ 地域・保護者と積極的に連携し、地域に根ざした教育活動の展開を図る。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。
	六中	生徒一人一人に「生きる力」を着実に育成していくために、以下のとおり、様々な教育活動を展開させていく。また、昨年度からの導入である二学期制の実施状況や成果をふまえ、さらなる改善を目指す。 ア 教育活動全体を通して、人権尊重教育の推進を図り、生徒一人ひとりが互いに自他の違いを認め、励ましあい、成長しあえるように指導する。特に障害のある生徒への配慮を大切にして、通常の学級、心身障害学級との連携、交流を深めていく。 イ 豊かな心を持ち、社会生活における基本的なルールを身に付け、社会に貢献しようとする生徒を育てるために、教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。とくに道徳の授業において、命の大切さを考える機会を通して、互いに認め合える人間関係を育てるように指導する。 ウ 基本的生活習慣の定着を徹底するとともに、行事などへの自主的・積極的な取り組みの中から、リーダーを育成し、集団のルールを守る大切さ等を育てる。 エ 生徒を主体としてわかる授業を目指し、一人ひとりのよさや可能性を伸ばす指導と評価の改善を更に推し進める。また、学習内容を厳選し、基礎・基本の徹底を図る。全学年を通じて選択教科の学習を行い、個に応じた活動を展開することにより、自ら学び、自ら考える力の育成に努める。 オ 生徒と教師・生徒同士の人間関係を重視し、生徒理解のために教育相談・学力補充等の機会を多く設定するとともに、スクールカウンセラー等との校内の連携体制を一層充実させる。 カ 総合的な学習の時間を使い、情報機器を積極的に活用させながら、自ら課題を選び、調べ、発表していく活動を行うように指導する。また、行事の際の高齢者とのふれあい、保育園訪問などのボランティア活動など地域や社会における積極的な体験を通して、「生きる力」の育成を目指す。 キ 家庭・地域とともに教育活動を進めるため、開かれた学校を目指し、学校公開日を中心に各行事等、日常の教育活動を積極的に公開し、学校通信・学年便りなどを通じた情報交換により、保護者・地域の理解と協力を得るようにする。また、地域教育懇談会などを通じ、地域・保護者と連携した教育活動も重視していく。 ク 生徒一人ひとりに、個性と可能性を持つ存在であることを自覚させる。また、職場体験・職場訪問などを通して、正しい勤労観・職業観を育むとともに、それぞれが自ら自分の生き方について主体的に考えられるよう進路指導を充実させる。 ケ 自国の文化や伝統に誇りを持ち、互いの文化の違いを認め合いながら、これからの国際社会の中で、たくましく生きていく力を育てるために、国際理解教育を充実する。 コ 体育・健康に関する指導を通して、たくましい心と体を育て、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。 サ 閉校及び統合新校舎移行へ向けての合同行事等で、生徒の活動がスムーズに行われるよう支援する。	エ 開かれた学校を推進する。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。 ・ 地域・保護者と積極的に連携し、地域に根ざした教育活動の展開を図る。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。	エ 開かれた学校を推進する。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。 ・ 地域・保護者と積極的に連携し、地域に根ざした教育活動の展開を図る。 ・ 学校運営に学校評価や学校評議員の積極的な活用を図る。 ・ 本校の教育活動についての保護者・地域に積極的な情報提供を図る。

		統合前(平成17年度)	統合後(目黒中央中学校)	
			旧校舎(平成18年度)	新校舎(平成20年度)
学習指導 (各教科)	二中	指導内容の系列化を図り、自ら学び自ら考え主体的に判断する能力の育成に努める。 基礎的・基本的な内容の確実な定着と向上を図るとともに、指導法及び評価の改善や指導方法を工夫改善し、評価について研究し、学習指導員を活用し、個に応じた指導の充実と生徒一人一人の能力の伸長に努める。 生徒一人一人の基礎学力の定着と個に応じた指導の徹底を図るために、五教科(国語・社会・数学・理科・英語)において学級二分劃にして、少人数制授業を行う。 心豊かな生徒の育成と人権を尊重し、望ましい人間関係を図るため情操教育を重視する。 社会科では、基本的人権の尊重、国際化への対応及び情報社会への進展に対応した指導をすすめる。 外国語では、個に応じた指導の充実、外国人指導員による指導を活用して言語活動を豊かにし、英語力・会話能力の向上に努める。 選択教科は、2年生は希望及び個性に応じたコースを開設する。3年生は9教科16コースを開設し、生徒の特性等に応じた個性を伸ばす教育を充実していく。 2年生については、個に応じたきめ細やかで発展的な学習活動を行う。ただし、保健体育や移動教室等集団行動については、他学年との合同授業や他校と合同で実施する。	指導形態や指導方法を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。 ・数学、英語、国語、理科では、加配教員や学習指導員を活用し、少人数指導やチームティーチングによる指導を行う。 ・第1学年では平成20年度新校舎で予定されている教科センター方式の実施に備え、一部教科教室型の学習指導を実践する。 ・分かる授業の展開を目指し、IT機器、校内LANや視聴覚機器等を積極的に活用した新たな指導法の研究・開発を行う。 選択教科の学習内容・指導方法を工夫し、生徒の特性等に応じた多様な学習活動の展開を図る。 ・理科、社会、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の選択教科では生徒の興味・関心を重視した課題学習を実施する。英語については全時間でALTを活用し、会話を中心とした学習内容を実施する。(第2・3学年で実施) ・国語、数学、英語の選択教科では、必修の授業で学習した内容を再度学習する補充的な学習及び進んだ内容を学習する発展的な学習を実施する。(第1・2学年では数学・英語で、第3学年では国語、数学、英語に各々補充コースと発展コースを設定)	指導形態や指導方法を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。 ・数学、英語では、加配教員や学習指導員を活用し、少人数指導やチームティーチングによる指導を行う。 ・教科センター方式の教室空間やラーニングセンターなどを生かした学習指導方法の改善・工夫を図る。 ・分かる授業の展開を目指し、ICT機器、校内LANや視聴覚機器等を積極的に活用した新たな指導法の研究・開発を行う。 選択教科の学習内容・指導方法を工夫し、生徒の特性等に応じた多様な学習活動の展開を図る。 ・理科、社会、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の選択教科では生徒の興味・関心を重視した課題学習を実施する。英語については全時間でALTを活用し、会話を中心とした学習内容を実施する。(第2・3学年で実施) ・国語、数学、英語の選択教科では、必修の授業で学習した内容を再度学習する補充的な学習及び進んだ内容を学習する発展的な学習を実施する。(第1・2学年では数学・英語で、第3学年では国語、数学、英語に各々補充コースと発展コースを設定)
	五中	学習指導要領のねらいを実現させるため、評価の精度を高め、指導と評価を一体化することで、基礎的・基本的な内容の定着を図り、生徒に学習に対する成就感や喜びを味わわせる。 一人一人の個性や能力を生かす指導に努め、柔軟な思考力、豊かな想像力や表現力の育成を図る。特に、学習の遅れがちな生徒に対して、その実態を把握し、計画的な指導に努める。 全学年数学・理科・英語と3年国語において、少人数グループに分け個に応じた指導や習熟度に応じた指導を行う。 学習指導計画や指導方法の打ち合わせを綿密に行うことで、講師や学習指導員を効率的に活用する。 選択教科においては、指導内容の充実及び指導形態の工夫・改善を図り、楽しく自ら学ぶ姿勢を育てる。 外国語について、入門期の指導として、基礎的内容の充実に努める。 コンピュータを利用した学習指導を積極的にを行い、指導方法研究の実践を積み重ねる。	・国語、数学、英語の選択教科については、指導効果の一層の向上をねらい、一定期間にまとめ取りとし、連続性のある指導を行う。	
	六中	必修教科においては、基礎・基本を確実に身に付けさせ、生涯を通じて学ぶ意欲と態度を養う。 第1学年においては、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の選択授業を実施し、また第2学年においては、9教科を国語、社会、数学、理科、英語と音楽、美術、保健体育、技術・家庭に分け、2教科を選択する形式とする。第3学年においては、9教科選択とし、コース数をできるだけ多く設定して、自ら学ぶ意欲を育てるとともに個性の伸長を図る。 第3学年の選択教科において、英語、数学、国語の3教科で基礎・応用コースを設け、個性と能力の一層の充実を目指す。		
生活指導	二中	心身ともに健康・安全な生活態度や基本的な生活習慣を身に付けさせ、きまりの意義を理解・遵守させることで規範意識を養い、規律ある学校生活の中で自律できる能力の育成を図る。 言葉遣いやあいさつ等、言語環境を整備し、言語に対する関心や理解を深め、言語活動の適正化を図るとともに、自らの考えや気持ちを伝え合う人間関係を育成する。 性に関する問題行動や薬物乱用問題など健康を害する問題に対して、家族・地域社会・関係諸機関との連携において、性教育・薬物乱用防止に関する指導の推進を図り、心とからだの健康教育の充実を図る。 いじめ問題や不登校等をなくす心の教育を重視し、深い生徒理解に基づいて、集団指導と個の指導の兼ね合いに配慮して、学校内外で生徒の健全育成に努める。	社会の一員としての自覚を高め、社会規範を遵守する態度を育てる。 基本的な生活習慣の育成を図り、自らを律し、主体的に生活できる力を育てる。 生徒と触れ合いを大切に、生徒理解を深め、生徒自身が自己実現できるよう支援する。 保護者との連携を密にし、確かな信頼関係の中で生徒への適切な支援が行えるよう努める。	社会の一員としての自覚を高め、社会規範を遵守する態度を育てる。 基本的な生活習慣の育成を図り、自らを律し、主体的に生活できる力を育てる。 教科社会コーナーやラーニングセンターを積極的に活用するなど、全教員が日常的に生徒との触れ合いを大切にしながら、生徒理解を深めていく。 学級経営の充実を図るとともに全教員が教育活動のあらゆる場面で生徒自身が自己実現できるよう支援する。 発達段階や学年の課題に応じてセーフティ教室を実施するなど、安全指導の充実を図り、自他の生命を尊重し、安全な生活を営むことができる態度や能力を育てる。 特別支援委員会(校内委員会)の組織的・機能的な運営を図るとともに、児童相談所や子ども家庭支援センター、警察等、外部機関との連携を密にし、生徒個々の状況に応じた生徒指導・安全指導の充実を図る。 保護者との連携を密にするために、学校公開や保護者会等を増やし、確かな信頼関係の中で生徒への適切な支援が行えるよう努めるとともに、学校だより・ホームページ・学年通信等を活用し、学校の役割、保護者・家庭の役割について積極的に示していく。 食育の充実を図り、食に対する関心を高めるとともに、健康的な食習慣を身に付けようとする意識と実践力を育てる。
	五中	社会の一員としての自覚を高め、社会規範を遵守する態度を育てる。特に、学校生活のあらゆる場面で教師と生徒との心の交流を図り、基本的な生活習慣の育成に努める。 生徒や保護者との教育相談を重視し、一人一人の生徒に対する理解を深め、自己実現能力と態度を身に付けさせる。 家庭・地域社会・関係諸機関との連携を密にして、豊かな人間関係を育てるように努める。		
	六中	基本的な生活習慣の定着を図る。特に、あいさつ、言葉遣い、時間的なけじめに重点を置く。また、最近問題になっている薬物の乱用などの防止も訴える。 生徒一人ひとりの特性の理解に努め、個性重視の教育を推進する。 集団のルールを守り、節度ある生活を送れるようにするための指導を心がける。 自己理解に努め、余暇を主体的・有意義に活用する態度を養う。		
特色ある教育活動	二中	生徒一人一人の技能や特性を把握し、個々の基礎学力の定着と向上を図る。 小規模校のよさを生かし、一人一人の生徒が生き生きと活動する教育を展開する。さらに、小学校との連携により、効果的な指導方法を工夫する。 生徒と教師の人間的なふれあいをとおして、個別指導に努めるとともに、教育相談の充実を図り、スクールカウンセラーとの連携により、カウンセリングの技法や考え方を生かし、思いやりの心や強い意志を育成する。 環境美化活動やサイクル活動、ボランティア活動など勤労体験学習を通し、ものごとを成就させる喜びや全体に奉仕する心を養い、豊かな人間性を育成する。 地域の人材を活用して、「人間の生き方を考える」教育活動を展開する。 二学期制を実施することにより、授業時数の確保を図り、ゆとりある教育活動を展開する。 新しい学校に向けて五中・六中と連携し、可能な限り合同でできる教育活動を進める。 二中として、今年度幕を閉じるにあたり、一つ一つの行事が思い深く心に刻まれるものとなるように、生徒・保護者・教職員・地域等が一体となって取り組む。	二期制の実施 夏季及び冬季休業日の一つの学期サイクルの中でとらえ、連続的・継続的な教育活動を展開する。 全校「朝読書の時間」の設定 読書活動を奨励し図書館の有効活用法を身に付けさせるとともに本に親しむ姿勢を作っていく。 教科教室を活用した学習指導の充実 平成18年度は平成20年度新校舎移転に向けて、教科教室を設置し、第1学年の国語・社会・数学・英語で教科教室型の学習指導を展開する。 学習指導員と少人数指導加配教員を活用した多様な指導の展開 数学・英語等におけるチームティーチングによる指導・少人数指導を実施する。 個に応じた補充・発展学習の拡充 選択教科(国語・数学・英語)の補充・発展コースを設定する。一定期間にまとめ取りで実施することにより、学習の連続性を図り、指導効果の向上を図る。 キャリアアップ講座の開設 学習指導員を活用し、放課後等に資格取得(漢字検定、数学検定、英語検定)のための学習支援を行う。 英会話力習得のための学習指導の促進(英語を用いたコミュニケーション力の育成) 第2・3学年の選択教科にALT(外国人の指導員)を活用した英会話コースを設定する。 生徒自らが創造する学校行事の実施 生徒自身が課題を設定し、その解決に向けて主体的に取り組むことができる体育祭・文化祭等を実施する。また、「生徒の活動」の時間で生徒会活動や学級活動など、生徒の主体的な活動を推進する。 地域ボランティア活動等、地域と共に進める体験活動の実施	二期制の実施 夏季及び冬季休業日の一つの学期サイクルの中でとらえ、連続的・継続的な教育活動を展開する。 全校「朝読書の時間」の設定 読書活動を奨励し図書館の有効活用法を身に付けさせるとともに本に親しむ姿勢を作っていく。 教科センター方式の教室空間・ICT機器を活用した学習指導の充実 ICT機器等が常時設置された教室を活用し、生徒が主体的に学習を進められる力を伸ばすための学習指導方法の研究・研修を図る。 学習指導員と少人数指導加配教員を活用した多様な指導の展開 数学・英語等におけるチームティーチングによる指導・少人数指導を実施する。 個に応じた補充・発展学習の拡充 選択教科(国語・数学・英語)の補充・発展コースを設定する。一定期間にまとめ取りで実施することにより、学習の連続性を図り、指導効果の向上を図る。 キャリアアップ講座の開設 学習指導員を活用し、放課後等に資格取得(漢字検定、数学検定、英語検定)のための学習支援を行う。 英会話力習得のための学習指導の促進(英語を用いたコミュニケーション力の育成) 第2・3学年の選択教科にALT(外国人の指導員)を活用した英会話コースを設定する。 生徒自らが創造する学校行事の実施 生徒自身が課題を設定し、その解決に向けて主体的に取り組むことができる体育祭・文化祭等を実施する。また、「生徒の活動」の時間で生徒会活動や学級活動など、生徒の主体的な活動を推進する。 地域ボランティア活動等、地域と共に進める体験活動の実施
	五中	夏季及び冬季休業日の一つの学期のサイクルの中でとらえ、これまで以上に連続的・継続的な教育活動を展開する。 全校で「朝読書の時間」を設定し、PTAと協力し「学校図書館開放」を実施して、本に親しむ姿勢を作っていく。 地域教育懇談会の協力を得て、学校と保護者・地域の方が連携を深める活動として、さらに、生徒が母校に誇りをもてる活動として、「ようこそ先輩五中版」を実施する。 外部指導員やPTAの協力のもとに部活動の活性化を図る。		
	六中	健康、安全への関心を高める。基礎的な体力の養成に努めるとともに、学年、全校単位の体験的な活動を充実させる。また、心身ともに健康に生活することに大切さを認識させる。 諸行事においては、教師と生徒、生徒相互の人間関係の確立を図る。また、年度当初・夏季休業後に一週間程度教育相談週間を設定して、生徒理解のために生かしていく。 スクールカウンセラーによる教育相談を週1回開催し、生徒の学習や生活上の悩みを解決する手助けを行う。 あらゆる機会をとらえて、人の話を傾聴する習慣を養うとともに、対話能力を向上させる。 体育的行事や文化的行事などにおいて、学級の団結や学年の協調だけでなく、異学年の交流を行う。 毎週火曜日から金曜日の8時30分から8時45分まで(15分×4日間=60分)に、読書指導等を行い、これを裁量の時間に付加する。その際、内容をまとめたり、発表する機会を総合的な学習の時間でを行い、自己表現力の養成に努める。 各種資格取得を目指す生徒に向け、関係する教科の学習支援体制作りを進める。		